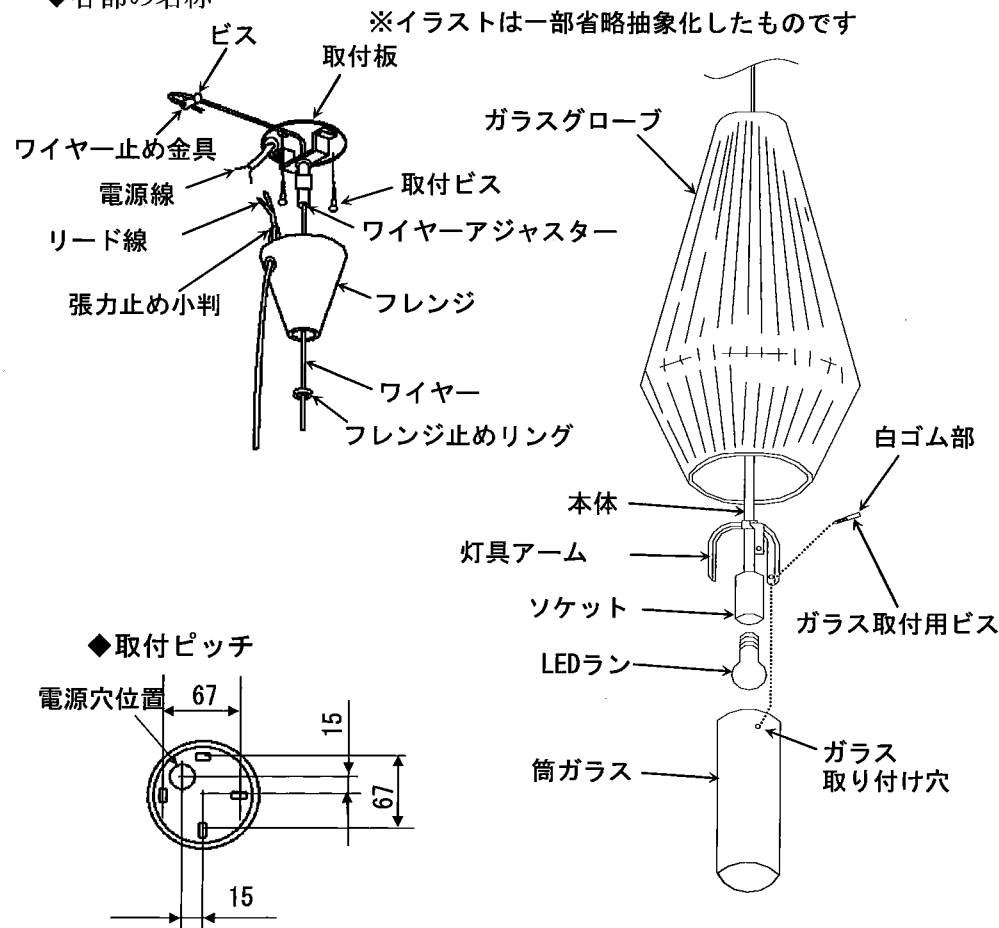


取扱説明書

XRP6030C

注) LEDランプ取付時、又は交換時には必ずスイッチ等を切ってから行ってください。

◆各部の名称



◆適合LEDランプ (球付) ・定格

ランプ型番	定格電圧	周波数	入力電流	消費電力	口金
RAD-427L	AC/100V	50/60Hz	90mA	5W	E17

△ 適合ランプ以外のランプは、絶対に使用しないでください。火災・器具の故障の原因となります
LEDランプ交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります

◆取付方法

- 安全確保の為、電源ブレーカは遮断し、取り付けてください。
△ 感電の原因となります。
- 器具の重量に耐えるよう、天井面の取付部の強度を確保してください。
天井取付専用器具です。(壁付不可、左図参照)
△ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。
- フレンジのフレンジ止めリングを外し、取付板を分離してください。
△ 外したフレンジ、フレンジ止めリングは無くさない様に注意してください。
- 取付板を付属の取付ビスにて天井面に取り付けてください。
△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因になります。
- 筒ガラスを灯具アーム内側に合わせ、ガラス取付用ビスを(3ヶ所)灯具アームに締め付け、筒ガラスのガラス取り付け穴(3ヶ所)にビスを貫通させながら締め込み、筒ガラスを取り付けてください。
△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因になります。
- 本体上部から出ているリード線とワイヤーをガラスグローブに通し、ガラスの接触到注意しながらガラスグローブ内側をガラス取付用ビスの白ゴム部にあててセットしてください。
7、セットができたならワイヤーにフレンジ止めリング・フレンジの順に通した上で取付板の先端部に付いているワイヤーアジャスターにワイヤーを通し、仮吊り状態にしてください。
△ ワイヤアジャスターは先端部を押すと上下可動の状態になりますので注意してください。
△ ガラスグローブでなくワイヤーが付いている本体を持って、ワイヤー調整してください。
ガラスグローブが本体より離れて、ズレさがつてけがをする可能性があります。
- ワイヤー先端部は付属のワイヤー止め金具を左図の様に通してビス2ヶ所を締め付けてください。
△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因になります。
- リード線先端部に付いている張力止め小判2ツ穴を一度外し、リード線をフレンジ横穴に通しフレンジ内側にて張力止め小判2ツ穴を取り付け電源線と結線してください。
張力止めの位置はフレンジ内で調整してください。
△ この製品はワイヤー吊り下げ器具ですのでワイヤーに重量がかかるようにピンと張った状態にしリード線は余裕をもつ様に施工してください。
- 結線後、フレンジを天井面に押し上げてフレンジ止めリングにて固定してください。
△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因になります。
- ガラスグローブのバランスを調整してください。
- ソケットにLEDランプを取り付けてください。
△ ランプを強く握ったり、ひねったりしますと、破損・怪我の原因となります。
ていねいに扱ってください。
△ 点灯中や消灯直後にLEDランプを素手でさわりますと、やけどの原因となります。
消灯後20分後にしてください。

◇LED光源について

- ・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・パイロットランプを内蔵したスイッチとの組み合わせでは、LEDが完全に点灯しない場合があります。
- ・ラジオやテレビなどの音響機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。
- ・赤外線リモコンを採用したテレビなどの近くで点灯しますと、誤動作することがあります。
- ・適合LED光源は調光出来ません。
- ・大電力機器(コピー機、ドライヤー、電子レンジ、冷暖房機器など)を使用した場合の瞬時的な電圧変動によって、ちらついたり明るさが変化したりする場合があります。

■清掃方法について  注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をうすめ布につけ、よく絞ってから器具を拭きとり、その後乾いた布で仕上げて下さい。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のものまたは酸性、アルカリ性の洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないで下さい。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼して下さい。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問合せください。